

折々の便り

ふるさと愛南町を遠く離れて生活をされている方に「ふるさとへの思い」をご投稿いただき、新たな交流のきっかけになればと「折々の便り」というコーナーを設けています。
今回は、「テノヒラ」のボーカリスト「kiku」こと城辺出身の菊田朱美さん（東京都在住）からご投稿をいただきました。菊田さんは愛南町に元気を届けたいと、9月11日（土）に御荘文化センターで「テノヒラワンマンライブ」を開催します。あわせてご紹介

『イノチの音(ね)』

七日、八日、町へ帰ろうか。イノチの音(ね) が響くあの場所へ。夢を追えば追うほど、愛しくさせる場所へ……
ふるさとを思っ書いて『イノチの音(ね)』という曲の中に、私はこう綴った。町を離れて15年が過ぎようとしている。私なりに自分の選んだ道を精一杯歩いてきたつもりだ。

故郷に錦を飾る……夢を抱いて故郷を離れた人なら誰もが心に決めることだろう。歌を始めた頃から、この町で「夏フェス(音楽祭)」を開催したいと思ってきた。町に住む子ども達に近くで生の音楽を聴いてほしい。町に少しでも元気を届けられたい、と思ったからだ。これが私にとつての「錦」だ。正直、今の自分にそれができるほどの力はないが、いつか……いつか……とその時を待っていても何も変わらない、何も進まない。とにかく、今の自分にできることをやるべきだ、と思った。
フェス開催への第一歩として、まずはこの町のみなさんに私の15年を見てほしい。私の音楽を肌で感じてほしい。そして、テノヒラの音楽から何かを受け取ってもらえると嬉しい。



今思えば「故郷に錦を飾りたい」、その思いだけでここまで来れたような気がする。家族・友人・恩師のいるこの町がなければ、私はとっくに歌を諦めていただろう。乗り越えていく力をくれる、歩き続ける力をくれる、この町は私の力の源だ。
感謝の気持ちを込めて、今の私にできるすべてをこの町に届けようと思う。心から「ありがとう」を。

「テノヒラワンマンライブ」

日時/9月11日(土) 18時～(開場17時30分)

会場/御荘文化センター

チケット/大人 1,500円、高校生以下 1,000円

チケット販売/イズミスタジオ(TEL72-0017)

問い合わせ/テノヒラ

(TEL080-4150-7060、E-mail info@tenohira-music.com)

●テノヒラ●

愛南町出身のボーカル、kiku(菊田朱美)が所属するグループ。現在、東京で活動中。愛南町に元気を届けたいと、地元での夏フェス開催を決意。今回はそのための第一歩として、まずは自分の存在や、今までやってきたことを町の人に見てもらいたいという思いでワンマンライブを行う。東京からkikuが信頼をおくミュージシャンやダンサーを引き連れてのライブ。テノヒラの音楽を、目で、耳で、心で感じるができるだろう。まずはテノヒラの音楽に触れてほしい。



■編成 ボーカル：kiku(テノヒラ)、パーカッション&ドラム：sin(テノヒラ)
キーボード：滝本成吾
ギター：nero、ベース：南波咲恵、バイオリン：望月明香
ダンス：KETZ, natuki, AKINO, HARMY